



稲荷神社
紅花商人寄進の石燈籠

かつて紅花宿と呼ばれた宿場町
桶川宿は、かつて紅花宿といわれていました。江戸時代、桶川は紅花をはじめとする農作物の集散地兼宿場町として栄えました。特に紅花は、幕末になると、山形の「最上紅花」に次いで全国で二番目の生産量を誇り、「桶川鱧」と呼ばれていました。
しかし明治期に入ると化学染料が導入されるなどして、次第に衰退していきま。紅花文化が隆盛を誇った当時の痕跡は、紅花商人が寄進した石燈籠（寿二丁目の稲荷神社）などに見ることが出来ます。それが改めて「べに花の郷」として知られるようになったのは、市民によるまちづくり活動からでした。

市民の手で「べに花まつり」が生まれた
キーパーソンのひとりには加納地区の加藤貴一さん（故人）です。以前から桶川の歴史に興味を持っていた加藤さんは、いつしか紅花に魅せられ、自分で栽培するようになったそうです。
また「桶川ロータリークラブ」は、まちづくり事業を始めるにあたり桶川の歴史を調べると、紅花と密接に関連していることがわかり、紅花をまちおこし事業に起用することとしました。そこで平成5（1993）年に山形県河北町を訪れ、種子を持ち帰り、翌年には富士見ホテル親水公園で試験栽培し、見事な花を咲かせたのです。
そのときに採取した種子は、市のイベントなどで無料配布され、以後、市民の手でひろく栽培されるようになりまし。こうして紅花を通じて桶川の歴史と伝統を見つめ直し、現代に活かす気運がおこり、平成8年に「第一回べに花まつり」が開催されたのです。
同年（平成8年）11月に、べに花まつりでは、「べに花の郷づくり事業」彩の国モデル顕彰を受賞しました。



市民の手で「べに花まつり」が生まれた

べに花の郷「おけがわ」は、市民の協力によって誕生した



オケちゃんが見た

紅花染めの特徴

紅花は化粧用、染料や食用としても利用されています。桶川市では、紅花染めを体験することができます。

●紅花のふたつの色

紅花の色素には黄色と赤色があり、この2色を染め物の原料としています。きれいな赤色で染めるときは、事前に黄色色素を除きます。黄色みを帯びた赤色で染めたい場合は、黄色色素を残して染めます。

赤の色素は木綿・絹が非常によく染まりますが、黄の色素は絹には染まりにくい性質があり、材質によって、濃染めの紅から桃色・黄色などに染まります。

●染め物をやってみよう！
べに花ふるさと館では季節に合わせて染物体験ができるイベントを開催しています。紅花染めのほかにも藍染めなどもできるので、ぜひ挑戦してみてください。

多様な色合いを出す紅花染め



べに花ふるさと館



べに花の郷づくり事業の魅力はここだ！



べに花の郷づくり事業は市民の活動で大きくなっていたべに。

産業観光課
藤倉主事



そうなんだ。だから桶川では「市民の手によるまちづくり」という考えがベースにあるんだよ。



べに花まつりは、あつしにとっても大切なイベントべに！



うん。これからも盛り上げていこうね！

Introducing the appeal of Okegawa



おけがわ魅力発信

桶川市には、住むにも通うにも遊びに行くにも、好奇心を満たしてくれるさまざまな魅力と特徴があります。そんな市の魅力を紹介します。

Okegawa city has many charms and features to satisfy your curiosity, whether you wish to live, commute, or visit. Let's take a look at some of those charms.

Safflower Urban Development : Bringing smiles back to the post town

べに花の郷



宿場町のにぎわいをとりもどす

べに花のまちづくり

Safflower Urban Development, one of Okegawa's biggest events, was born from the work of its citizens. Since its inception, Okegawa's urban development has mainly been carried out by its citizens.

桶川の代表的なイベント「べに花まつり」は市民の活動が広がって生まれました。それから市民によるまちづくりは、桶川のまちづくりの基本です。



べに花畑で結婚式

べに花染め体験

べに花販売

べに花まつり



オケちゃん

プロフィール
生年月日 平成22(2010)年11月3日
平成22年11月3日に誕生し、市民登録されました。江戸末期、桶川鱧脂の名で、有名だった「べに花」を頭に、「中山道桶川宿」をイメージした着物をまとい、草履を履いています。散歩や旅、イベントが大好きで、桶川のPRに奮闘しています。

Supporting the diverse lifestyles of the child-rearing generation

多様化する働き方に対応!



「子どもがのびのびと個性豊かに育ち、育てられるまち」が、桶川市の目指す子育てのカタチです。
桶川市内の子育て世帯では、父親の大半がフルタイム就労で、就労時間、通勤時間共に長い傾向にあります。また、就学前児童の母親については約3割がフルタイム就労で、出産後育児休業を取得し、職場復帰する女性が増加しています。一方で、結婚や出産を機に退職し、幼稚園入園や小学校入学に合わせてパート勤務を希望する人も多く、働き方の多様化が進んでいます。
このような現状をふまえ、桶川市は多様な働き方や就業率の上昇に対応できる質の高い教育・保育の確保を目指します。

「夏休みなどの長期休暇中に利用したい」という希望も多くなっています。
また、子育てに関する行政への要望では、「公園など家の外で安心して子どもが遊べる場を増やしてほしい」という声が多いため、保護者の就労にかかわらず利用できる放課後子供教室との連携強化、学校施設の活用、児童館の整備等を含めた総合的な子どもの居場所づくりを検討していきます。

誰もが利用できる
子育て施設の充実を図る



駅前子育て支援センターで実施した絵の具遊びの様子。市内には6か所の子育て支援拠点があり、親子の遊びと交流の場づくりのほか、子育てに関する情報発信や相談を行っています。

桶川市子育て世代包括支援センター
(愛称「オケちゃん」)



子どもも家庭も状況に応じてきめ細かく支援
子育てに悩みはつきものです。悩みの中身については、就学前児童の保護者では「食事や発育に関すること」が最も多く、小学生の保護者では「子どもの教育に関すること」や「友達つきあひについて」が多くなっています。
子どもの年齢を問わず多かったのが「子どもを叱りすぎている気がする」で、その背景には地域のつながりの希薄化や家族の形態の変化が考えられます。
そのため、地域子育て支援拠点事業や子育て世代包括支援センターなど、妊娠期から、子育て中の家庭の身近な場所で子育てに関する相談ができる事業を充実させ、家庭の状況に応じたきめ細かな支援ができる体制の強化を図ります。



多様化する「子育て世代のライフスタイル」にあわせた支援

さまざまな働き方が
実現できる子育て支援

So many places for children to play!

We continue working to create an environment where children can thrive. Here are some recommended spots where children can enjoy themselves.

水と緑とBBQが満喫できる!



城山公園
広大な敷地を誇る市内一の都市公園。子どもたちに人気のアスレチック遊具やじゃぶじゃぶ池のほか、バーベキュー広場もあります。休日は家族でのんびりピクニックしている様子が見られます。



雨の日も安心して遊べるよ



アスレチック遊具がいっぱい!



子どもから高齢者までアクティブになれる公園!



桶川市児童館

アットホームな雰囲気の中、子どもたちがのびのび遊ぶことができます。ベビーヨガや運動会など子どもの年齢に応じたさまざまなイベントを開催しています。



わんぱく村

雑木林に囲まれるようにアスレチック遊具をはじめさまざまな遊具が揃っています。思いきり体を動かせる公園です。

坂田谷津谷遺跡公園

交流広場、遺跡広場、遊具広場、森林ゾーン、谷津谷の泉、健康広場などさまざまな世代が遊んだり、体を動かしたりできる公園です。

桶川の
子育て施設の
魅力はここだ!

子ども未来課
栗原主任

桶川市では地域全体で子育てをサポートするまちづくりに取り組んでいるよ。

子どもはまちの宝だからね。これからは子どもたちが元気でのびのび育つまちづくりを進めていくからPRよろしくね!

うん。いろんなことをやっているし、やろうとしているからね。

まかせるべに!
みんなに桶川の子育ての魅力や取り組みをPRするべに!

オケちゃんが見た

学びにつながる体験型アクティビティが 気持ちいい!

Play while learning, and learn from play. Here are some activities that place importance on the five senses for growth.



桶川の青空で風になる!

大空を体験

桶川市には
操縦士訓練のための飛行場があり、
スカイダイビングや遊覧飛行が楽しめます。



遊覧飛行

3名まで搭乗できるセスナ機を1機チャーターして
空を遊覧します。コースは大宮コース、東京タワー
コース、夜間飛行コースの3つがあります。

Go!

桶川の大地で風になる!

自転車



バイク

BOOM!

桶川スポーツランドでは、車
両や装備を持っていくなくてもレ
ンタルしてサーキット走行でき
ます。観戦無料のレースも毎月
開催。



市内には3つのサイクリング
ロードがあります。荒川左岸の
上尾から北本に続く「県央ふれ
あいぐろーど」、地域の東側
を周遊する「桶川・田園と川
のルート」、主に川田谷地域を周
遊する「桶川・田園と歴史を再
発見するルート」です。

遊びながら学ぶ、学びが遊びになる。
五感で感じることを大切にしてい
それが成長につながるアクティビ
ティを紹介します。

工場を見学

桶川市は都心への交通アクセス
が整備されているため、さまざま
な製造工業が点在しています。
製品ができるまでの工程を見学
してみるのも楽しいですよ。

富士食糧

明治7(1874)年に製粉・精
麦業として創業し、麦茶やきな粉
などを製造。昭和36(1961)年
に桶川にて工場を建設し、操業を
続けています。



発酵が進むと
気泡が出るよ



坂巻醤油店

大正14(1925)年創業の醤油
蔵です。ミネ資料室や木桶・製造工
程の見学のほかに醤油の試食、オ
リジナルグッズの購入などもでき
ます。



元荒川水循環センター

埼玉県内の荒川左岸北部流域
(熊谷市・行田市・鴻巣市・北本市・桶
川市)の下水を処理する施設で、
きれいに処理された水を元荒川
に流しています。施設見学は申込
制です。



市民の花の
紅花がモチーフの
マンホール蓋



べに花ふるさと館で体験

べに花ふるさと館では、うどん打ち
やそば打ち、木工細工、陶芸、染物、書
道などの体験ができます。



香ばしいきな粉



ダンボールロール
ひとつの重さは
なんと1トン!



日藤ダンボール株式会社

昭和41(1966)年創業。使用
用途によってさまざまな大きさ・
形・素材があるダンボールを既製
品からオーダーメイドまで、ニ
ズに応じて製造しています。

桶川の アクティビティの 魅力はここだ!

桶川では楽しそうなこと
がいろいろできるべに!



産業観光課
早野主事補

あっしも風になりたい
べに!



いろんな体験を通
して、桶川市を気に入
ってくると嬉しいから、まずは来
てもらわないとね。

宣伝はあっしにまかせ
てほしいべに!



これらの活動を支援するとともに、自治会への加入促進のために域内企業とも協働しながら協定を結び、官・民・住民で「いざという時」に頼りになる自治会活動を続けていきます。

●情報の共有
「広報おけがわ」や「市議会だより」を各世帯にお届けしています。

●レクリエーション活動
盆踊りや市民体育祭など、地域住民の交流活動を行っています。

●社会福祉に協力
地域での福祉活動の推進や募金活動などに協力しています。

●安心・安全なまちづくり
通学時や夜間のパトロールを実施し、防犯活動に努めています。

▼自治会の活動内容
●環境美化運動の促進
お互いに協力し合い、ごみ集積所をはじめ地域の清掃を行っています。

自治会の活動を支援して、次代を育てる
町会・自治会(区)は、地域の人と人とのつながりを大切に、住みよく豊かな地域社会を目指して、日々活動している任意の団体です。

多様性を大切に、みんなでつくる協働のまちづくり
近年、市内で開催されるふれあいフェスタ、芸術文化祭などのイベントに発表者側として参加する市民が増加傾向にあります。少子高齢化、核家族化の進行、ライフスタイルの変化や価値観の多様化などがひらき、地域コミュニティや地域交流、市民活動の大切さや、参加し交流する楽しさへの理解が広がっていることも背景にあるといえます。

市民主体のまちづくりを支える

サポートセンターでの交流会



サークル発表会



おけがわスポーツフェスティバル2019



市役所2階の男女共同参画コーナー「アソシエ」



環境づくりは、一人ひとりが自分らしく生きていくために、家庭・職場・地域でそれぞれの環境を整える施策を進めています。社会づくりは、男女だけでなく、高齢者や障害者、外国人、性的マイノリティの方への人権が尊重され、性別による差別的な扱いや暴力を受けることがなく、だれもが地域の中で安心して暮らせるように、理解の促進や支援を進めています。

桶川市は、平成10(1998)年に県内で2番目に「男女共同参画都市宣言」を发出し、以後、市民・事業者・関係機関の協力を得て、男女共同参画社会の実現に向けてさまざまな施策に取り組んできました。男女共同参画社会を実現させるには、意識づくり、環境づくり、そして社会づくりが大切です。

だれもが多様な生き方を認めあい、男女ががやくまちを目指して



桶川祇園祭

つながりで生まれる笑顔が
一番のたからもの



おはなし会



オケちゃん駅伝競走大会



平和へのメッセージ



釣り大会



春のふれあいフェスタ



市民まつり

桶川市のまちづくりは、市民と行政が一緒になって進めてきました。時代の変化により、生活環境も変わってきましたが、市民と行政による協働のまちづくりは、桶川の基本理念として引き継いでいきます。



Okegawa city's urban development has been carried out by its citizens and local government together. As times change, so does our living environment, but the citizens and local government work together to carry on Okegawa's fundamental principles.



オケちゃんが見た

桶川の協働のまちづくりの魅力はここだ!

「協働」って少し難しくそうに感じるべに。

自治文化課 斎藤主任



そんなことないわ。市民・自治会・市など、だれもお互いの立場や特性を活かしながら、より魅力ある桶川をつくるために、協力していくことなの。

あつしも一緒にがんばるべに。



それぞれの個性が輝くまちをつくっていきましょう!



桶川の
高齢者福祉の
魅力はここだ!

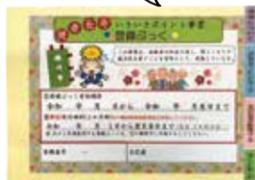
桶川の高齢者福祉
の特徴は何べに?

やっぱり、行政
が高齢者の地
域活動の参加を
促すように支援
していきたく
高年齢課
古内保健師
です。

参加していると生き
る活力もわいてくる
べに!

そうですね。これか
らの超高齢化社会
を支えるため、
「地域の助け合
い、支えあい活
動」をより推進
していきたいと
思います。

健康長寿いきいき
ポイント事業



健康増進につながる事業に参加
しポイントを集めると、獲得ポ
イントに応じてさまざまな記念品に
交換できる事業です。



介護予防に取り組むための体制を
整えていきます。



住み慣れた地域で
いきいきと暮らしてらける環境を作る

団塊世代が後期高齢者となる
時代を見据えた動き

2025年には団塊世代が後期高
齢期を迎え、医療ニーズや要介護リス
クが高まると考えられます。桶川市も
同様に重度の要介護者が増える傾向
にあるため、要支援や要介護にならな
いための介護予防に力を入れる必要が
あります。

また、高齢者のひとり暮らしや高
齢者のみの世帯がより一層増加するこ
も予測されるため、地域で相互に支
え合う互助の役割が期待されます。地
域活性化の面からも高齢者の役割と出
番のある地域づくりを進めることが重
要になっていきます。

地域包括ケアを推し進める
高齢者福祉計画を策定

大切なのは、高齢者が住み慣れた地
域でいきいきと生活できる環境です。
そのために、市は市民主体による介護
予防の取り組みや地域活動、社会貢献
活動に対して支援を行います。

そして地域全体をまとめてケアする
ための9つの基本施策を掲げ、「高齢者
福祉計画」を策定しました。市が中心と
なって専門的な医療・介護の連携と市民
の支えあいを含む福祉の豊富な資源を
活用し、住み慣れた地域で安心して介
護を受けられる取り組みを進め、高
齢者になっても住み続けたいと思える
桶川市にしていきたいです。

だれもが
健康に、
安心して
いきいきと
暮らす

高齢者が住み慣れた地域で、
安心していきいきと
暮らしていけるのが桶川です。
今後も高齢者の社会参加を支援し、
地域ぐるみで支える環境を
整えていきます。



Okegawa is a place where the elderly can live
safe and active lives in familiar surroundings.
We will continue to support senior citizens'
participation in society, and create an
environment of community-wide support.

「高齢者福祉計画」の9つの基本施策



基本施策 1

健康増進のための
啓発・事業の推進

市民の健康意識が高まり、特定健診の受
診率の向上、介護予防体操などに組み
込む高齢者が増えている状態を目指します。

基本施策 2

社会参加の促進

高齢化の進展に伴い、ボランティア活動へ
の関心が高まり、活動団体の数や参加する
高齢者の数が増大することを目指します。

基本施策 3

自立生活の
支援サービスの充実

生活機能の低下した高齢者に対し適切な
支援サービスを提供。ほかの高齢者との
交流を通して自立を促します。

基本施策 4

在宅を支える
介護保険サービスの充実

高齢者がきめ細かい介護保険サービスや
在宅での介護・医療、認知症支援を各日常
生活圏域で受けられる状態を目指します。

基本施策 5

自分らしい
住まいや施設の選択

施設入居待機者の方と地域住民との交流
を推進するなど、地域に開かれた活動が
一層盛んになるよう促進します。

基本施策 6

医療と介護の連携による
在宅継続の促進

医療と介護の関係者が現在の状況を共有し、
今後のあり方を協議する場を定期的に
確保。介護現場での連携の機運を高めます。

基本施策 7

認知症支援、早期対応の
システムづくりの推進

「認知症サポーター」の養成は、高齢者や
小・中学生も対象として取り組み、認知症
への理解が進んでいる状態を目指します。

基本施策 8

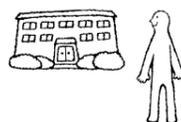
地域包括ケアシステムの推進

総合相談・支援事業、ケアマネジメント、
地域ケア会議等の各種取り組みが適切に
なされている状態を目指します。

基本施策 9

高齢者にやさしい
地域づくりの推進

地域の実情に合った支え合いのネット
ワークが多く地域で構築されている状態
を目指します。



いきいきと暮らしていけるために



認知症
サポーターの証
「オレンジリング」



認知症
サポーター養成講座

認知症という病気を正し
く理解し、認知症の人や家
族の応援者となっていたた
ための講座。保育所や小・中
学校でも開催し、幅広い年
代のサポーターを養成して
います。



桶川市
いきいき健康農園
市では高齢者の健康を維
持して生きがいを高めるため
に、「いきいき健康農園」を
オープン。60歳以上の方を対
象に農園の貸し出しを行って
います。

おれんじカフェ

おれんじカフェ(認知症力
フエ)は、認知症の方やそのご
家族同士が介護への思いや
悩みを共有したり、専門職に
相談したりできる場所と
なっており、市内7か所が開
催されています。



高齢者の通いの場

地域住民が身近な場所に
集まり、介護予防の取り組
みや相互の交流を図る場と
して運営。100歳体操など
の介護予防体操や交流会
など地域の実情に合った活動
が行われています。





本市の東には元荒川、西には荒川が流れ、貴重な緑の空間が広がっており、中小河川の源流地があります。
 こうした豊富な水辺環境がある郊外は、自然環境も豊かで、米・野菜・果樹のほか花きなどの農産物ももとより、近隣の市町と比べ、酪農業も盛んです。
 近年は都市化とともに後継者不足もあって、耕作放棄地が増えています。その一方で、身近に農や自然に親しむ場や健康づくりの場として、市民の農地への期待が高まっています。
 そこで、今後はこのような社会の背景を踏まえ、新規農業者の就労支援や地産地消など、農業振興を積極的に行い、耕作放棄地を健全な農地に活用する支援を行っていきます。

豊富な水辺資源に恵まれたまち



豊富な水を生かした桶川ならではの農業振興

消費者のニーズはさらなる多様化へと進んでいく傾向にあります。そこで消費者ニーズに合った農作物の生産拡大、インターネットを活用した直販や直売所などでの生産者の顔が見える農作物の販売など流通経路の拡充強化も図っていきます。
 また、環境や健康への配慮も大切です。減農薬・有機栽培など、人と環境にやさしい農業への転換を進めます。
 これらの実現のためにも農業経営の安定と基盤強化を図り、農業生産法人などの組織化の促進や農地の集約化、農業の近代化に対する支援や若い農業後継者の育成を推進します。
 さらに農業の6次産業化も進め、農・工・商が連携し、付加価値のある商品を生み出し、ブランド化を目指した産業振興を進めていきます。

桶川市の農業振興プラン



市内においては、学校給食や学校ファーム（学校内にある農業体験活動を目的とした農園）をはじめとした学びの場での食育の推進、農業を学ぶ機会や農業関連イベントの開催、市民農園や農産物直売所の充実、紅花をはじめ特色のある花き・園芸植物やガーデニングの普及などを展開し、農業が身近に感じられるまちを目指し、地産地消、農業振興を図ります。
 また、水質汚濁・土壌汚染、農業用廃プラスチック類の処理などの問題に取り組み、環境への負荷を及ぼさない農業を促進します。農を通じて住民の交流が活発化し、地域への食文化の理解が進み、地域の需要を促進させるとともに、環境に配慮した安心安全な農作物や加工品の開発や販路の開拓を支援し、農業の振興を図ります。

農への市民の関心を高める



桶川の農業の魅力はここだ！

農政課 松田主任
 農家さんだけじゃなく、いろいろな立場の人たちが農業にかかわるべにね。

そうだね。
 食は生活の基本だから、あらゆる層にかかわるんだよ。

それと、桶川では酪農が盛んなんだにね。

イベント限定で、桶川産牛乳を100%使用した牛乳を飲むことができます。とてもおいしいので、ぜひ、飲んでみてください。



Okegawa is blessed with an abundance of greenery and agricultural produce, having the rich water sources of the Class A Arakawa and Motoarakawa rivers running through it. Another characteristic of the city's agriculture is its thriving dairy industry compared to neighboring municipalities. We will use these rich resources to promote agriculture by conveying the abundance, deliciousness, and importance of food.

安心して、安全で、地元産だから、
 食べるのがたのしい！

一級河川の荒川と元荒川が流れ、水源豊かな桶川は、豊富な緑と農作物に恵まれています。
 また、近隣自治体と比べて酪農業が盛んなのも本市農業の特徴のひとつです。
 これらの恵まれた資源を活用し、食の豊かさ、おいしさ、大切さを伝え、農業の振興を図ります。



牛



なし



牛乳ビン



くり



紅花



胡蝶蘭

6月と11月のイベント限定で、桶川産牛乳を100%使用した牛乳の販売も行っていきます。

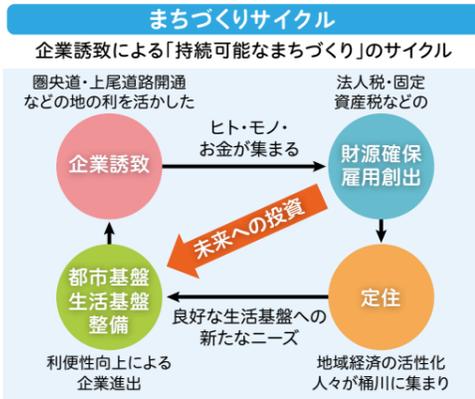
農畜産品の市内生産者数

飼養農家数	
畜種	飼養農家数
乳用牛	11
肉用牛	3
豚	1
採卵鶏	2

果樹栽培状況			
果樹	栽培農家数	果樹	栽培農家数
ぶどう	5	かき	10
日本なし	22	くり	18
もも	3	うめ	12
温州みかん	5	その他	20
その他柑橘類	4		

主要作物作付状況					
作物	作付農家数	作物	作付農家数	作物	作付農家数
水稲	159	ばれいしょ	46	野菜類(露地)	92
陸稲	28	かんしょ	32	野菜類(施設)	21
小麦	8	大豆	11	花き類・花木(露地)	5
大麦・裸麦	1	小豆	10	花き類・花木(施設)	8
そば	1	その他の豆類	11	その他の作物(露地)	6
雑穀	6	工芸農作物	2		

(平成27年2月1日現在) 出典「2015年農林業センサス」(農林水産省)



ふたつのICを活用し、持続可能なまちづくりを進める

商工業の振興は、雇用を創出し、安定した財源も確保されるなど、地域に活力をもたらします。

桶川市は、都心から40km圏内で埼玉県のほぼ中央に位置し、圏央道の桶川加納ICと桶川北本ICを有しています。また、市西部を縦断する上尾道路(新中山道)の1期区間が全線開通するなど、首都圏交通網の要衝としての十分なポテンシャルを持っています。

広域交通網の結節点という地の利を活かし、豊かな田園環境と産業が調和した土地利用を推進し、工業用地の確保を図り、雇用創出、財源確保、さらには、定住人口の促進につながる、持続可能なまちづくりを進めていきます。



人が集まり、交流し、笑顔が生まれる持続可能なまちづくり

歩いて暮らせる活力あふれるまちづくり

桶川駅周辺の中心市街地は、都市拠点として特に活性化を目指します。これまでも桶川駅の西口には大型商業施設や桶川市民ホール、駅西口公園をはじめとする大型施設があり、東口には中山道に沿った宿場の趣を残したまちづくりを進めてきました。駅東口は今後、駅前広場や駅通り線などの整備を行います。

また、市東西の坂田地区、日出谷地区の利便性のよい中心区域に新たな商業施設を誘導し、坂田地区に地域生活拠点として官民が連携してコミュニティセンターを整備しました。今後も人にやさしい、みどり豊かで快適な空間があるまちづくりを進めます。



中央図書館



観光資源の魅力を高めPRする

観光資源の掘り起こしは、観光客の誘致のためにも、市民に郷土への愛着を持ってもらうためにも重要です。中山道沿道、べに花ふるさと館などを中心とした地域で伝承されている芸能文化、イベントや既存の地域資源を活かした体験型・目的型観光を推進し、リピーターを増やします。

また、現在、整備を進めている道の駅「仮称おけがわ」では、地域の農産物や特産品などの販売、イベントの開催などを通じて、市内外からの人々の交流機会の促進につなげていきます。

これらの観光資源を魅力あるものとして周知していくために、桶川市観光協会と協力し、オケちゃんを活用したPRやパンフレットの作成、ガイドボランティアの育成などにも取り組み、多くの人に桶川の良さを知ってもらい、関心を持って足を運んでもらうようにしていきます。



観光資源の魅力を高めPRする



だから、計画的に土地を利用して持続可能なまちづくりをするのは、将来の桶川市にとっても重要なことなの。



地元の皆さんの理解と協力が不可欠になるね。



まちづくりはずっと続けていかないとけないのよ。



都市計画課 横田主事補

令和の時代になってまちの姿が変わっていきそうよ。



桶川の皆さんの魅力はここだ！



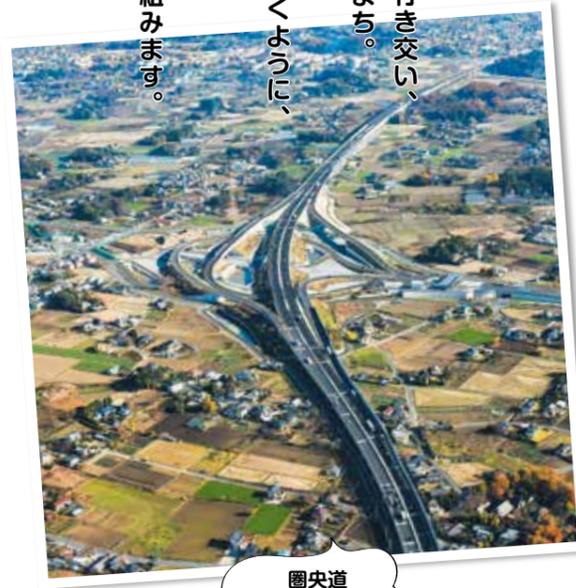
坂田コミュニティセンター

アクセスに恵まれ、市内中心部には人々が行き交い、笑顔と活気にあふれるまち。そんな桶川の風景が将来にわたってずっと続くように、都市機能を充実させ、桶川を好きになれる地域の魅力創出に取り組みます。



魅力創出につなぐ

笑顔あふれるまちを目指して、



圏央道 桶川北本IC



圏央道 桶川加納IC



中山道宿場館 (桶川市観光協会)



べに花娘によるPR



ガイドボランティアの皆さん

Okegawa is blessed with easy access to the center of town, where people go about their daily lives brimming with smiles and vitality. To ensure that the beautiful scenery of Okegawa lasts into the future, we will enrich urban functions and work on creating regional attractions to make Okegawa more desirable.